

賀川記念館がグラウンドオープン

式典に150人功績しのぶ



日本を代表する社会運動家、賀川豊彦（1888～1960年）の理念や事業を受け継ぐ「賀川記念館」（中央区吾妻通5）のグラウンドオープン式典が17日、同館で開かれた。生前の活動を紹介するミュージアムも開設。約150人が集まり、新たな拠点の誕生を祝った。

賀川は1909年、神

戸で救貧活動を開始。新記念館は活動100年の節目となった昨年、古い記念館を建て替え、完成した。

5階建てで、4階にミ

ュージアムを開設。生活協同組合運動や関東大震災被災地での活動、平和運動など賀川の幅広い功

績を12のブースに分け、写真や映像で紹介した。

約200冊の蔵書もあるといい、記念館は今後、賀川の研究、発信事業を展開していく。

式典で、講演した野尻武敏・神戸大名誉教授は「阪神・淡路大震災があり、人間にとって最も大

事なのは思いやりや愛だと気づいた人は多い」と指摘し、賀川の友愛精神を生かした支え合いの大切さを呼び掛けた。

ミュージアム入館には資料代300円が必要。月曜休館。同記念館8078・221・3627（岸本達也）